

「伝統と文化」を大切にする教育実践事例

③ 第6学年 社会科（上） 単元名「天皇中心の国づくり」学習指導略案

－「古典の日記念 京都市平安京創生館」での見学学習を行った実践例－

第6学年 社会科（上） 単元名「天皇中心の国づくり」 案

時数及び実施時期：（9時間）5月上旬～5月下旬

⇒（10時間）

◇本単元の目標

大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について遺跡や文化財，各種の資料を活用して調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことについて考え，表現する。

⇒ここで一工夫！！

単元「天皇中心の国づくり」の学習において，子どもたちは奈良時代の大陸の文化と平安時代の文化を比較することで，平安時代に大陸の文化とは趣の異なった独自の日本風の文化が起こったことを学ぶ（第1時～第8時…本市指導計画に準拠）。

そこで，日本風の文化が起こったころの京都の様子を実際に見に行こうという動機付けのもと，第9時に「古典の日記念 京都市平安京創生館」の見学学習を行う。平安京の模型を概観するとき東寺の位置は今も変わらないことを補足説明したり，展示資料からその時代の衣・食・住についての様子を読み取ったり（非連続型テキストの読み取り）することで，平安時代におこった日本風の文化が現代にもつながっていることをとらえられるようにする。また，子どもたちが「平安時代におこった日本風の文化が現代にもつながっていること」を表出している姿を見取るために，第10時に「大陸風の文化」「日本風の文化」「そして，現代の文化は…」というストーリー（3コマまんが風にする）で，絵と文でまとめる。

「古典の日記念 京都市平安京創生館」の見学学習を行うこと，つまり，平安京という京都に根付く伝統と文化を体感できる素材を位置付けることで，「伝統と文化」を大切にし，地域で学ぶ強みを生かす子どもの育成につながると考える。また，本単元での学びは国語科や道徳など，教科等の学習に波及することも期待できる。

伝統文化教育

社会科学習指導案

6年組 指導者 ○○ ○○

- 1 日時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「天皇中心の国づくり」
- 3 単元の目標 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について遺跡や文化財，各種の資料を活用して調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことについて考え，表現する。
- 4 本時の目標 法隆寺と聖徳太子の関連に気づき，聖徳太子の業績について調べる。
- 5 本時の展開 1 / 10 時間

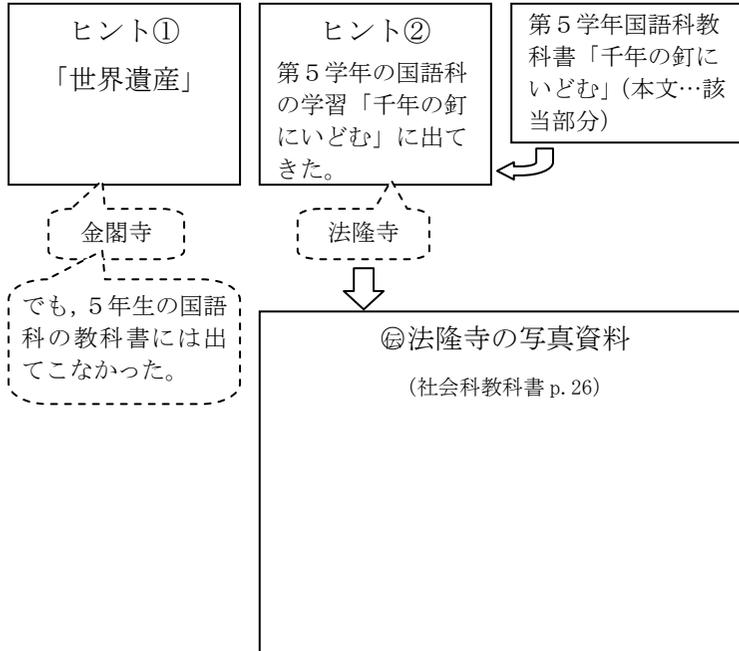
学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習問題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊟及び 太字ゴシック で示す。】
1 世界最古の木造建築は「法隆寺」であることに気付く。	◇世界最古の木造建築は，何だろう。 ・世界遺産ということは金閣寺かな。 ・でも，国語科の教科書には出てこなかったように思うよ。 ・国語科の学習「千年の釘にいどむ」に出てきた世界最古の木造建築ということは，「法隆寺」だね。	◆ヒント①のカード…「世界遺産」 ◆ヒント②のカード…第5学年の国語科の学習「千年の釘にいどむ」に出てきた。 ◆社会科地図帳 ㊟法隆寺の写真資料 (社会科教科書 p. 26) ◆国語科第5学年の教科書のコピー	* 問い「世界最古の木造建築は，何か知っているかな。」に対して，二つのヒント (ヒント①のカード…「世界遺産」，ヒント②のカード…第5学年の国語科の学習「千年の釘にいどむ」に出てきた。) と地図帳を手掛かりにして調べることで，問いのこたえは「法隆寺」であることに気付くことができるようにする。
2 法隆寺と聖徳太子の関連に気付く。	◇法隆寺に関わりがある人物は誰だろう。 ・法隆寺に関係がある人物は誰かな。 ・お寺に関係があるということは，僧侶かな。 ・法隆寺に関わりがある人物は，聖徳太子だね。	◆社会科教科書 ◆社会科資料集 ◆聖徳太子の名前と人物画	* 問い「法隆寺に関わりがある人物は誰だろう。」に対して，社会科教科書や社会科資料集をもとに調べることで，問いのこたえは「聖徳太子」であることに気付くことができるようにする。

<p>3 聖徳太子の業績について調べる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>聖徳太子の人物年表から疑問に思ったことを調べ、話し合おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子は、国づくりのために新しい制度や文化、学問が必要だと考えたのだね。 ・「冠位十二階」とは、家柄や出身地に関係なく能力や功績で役人を取り立てることにしたものなのだね。 ・「十七条の憲法」では、政治を行う役人の心構えを示したのだね。 ・「遣隋使」とは、隋（当時の中国）に使者を送ったことを言うのだね。 ・聖徳太子は、天皇中心の新しい国づくりを進めた人物なのだね。 	<p>◆聖徳太子の人物年表（社会科教科書 p. 28）</p>	<p>*聖徳太子の名前と人物画，人物年表を提示し，子どもの疑問を黄色チョークで板書することで，調べの視点を「疑問」に当てることができるようにする。</p>
<p>4 聖徳太子の業績について、まとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい国づくりを進めた聖徳太子は、仏教を信仰し、「冠位十二階」や「十七条の憲法」を定めたり，隋に使者を送ったりした。 	<p>◆書きまとめ用の文例</p>	<p>*書きまとめを苦手になっている子どももいる。そこで「新しい国づくりを進めた聖徳太子は、～をしたり，…をしたりした。」という書きまとめ用の文例を板書に示すことで，～や…に該当する言葉を自分のノートや板書を参考にしながら見つけ，本時のまとめを書くことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【社会的事象への関心・意欲・態度】</p> <p>法隆寺と聖徳太子の関連に気付き，聖徳太子の業績について，意欲的に調べようとしている。</p> <p style="text-align: center;">（発言・ノート）</p> </div>

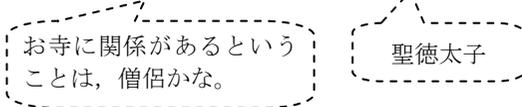
6 板書計画

月 日 時間目

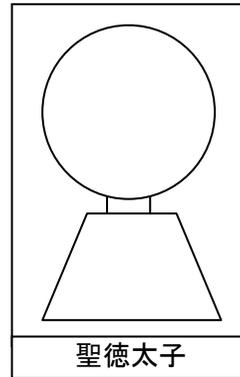
世界最古の木造建築は、何だろう。



法隆寺に関わりがある人物は誰だろう。



「天皇中心の国づくり」



聖徳太子

574年	聖徳太子が生まれる
593年	聖徳太子が摂政となる
603年	冠位十二階を定める
604年	十七条憲法を定める
607年	遣隋使を送る 法隆寺を建てる
622年	聖徳太子が亡くなる

冠位十二階とは何かな。

十七条憲法とは、どのような憲法だろう。

遣隋使とは？

聖徳太子の人物年表から疑問に思ったことを調べ、話し合おう。

- ・聖徳太子は、国づくりのために新しい制度や文化、学問が必要だと考えた。
- ・「冠位十二階」とは、家柄や出身地に関係なく能力や功績で役人を取り立てることにした。
- ・「十七条の憲法」では、政治を行う役人の心構えを示した。
- ・「遣隋使」とは、隋（当時の中国）に使者を送ったことを示す。
- ・聖徳太子は、天皇中心の新しい国づくりを進めた人物。

書きまとめ〈文例〉
「新しい国づくりを進めた聖徳太子は、～をしたり、…をしたりした。」

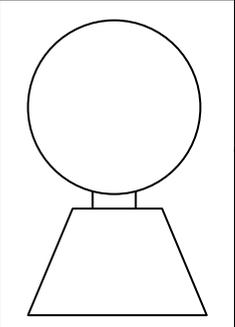
- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「天皇中心の国づくり」
- 3 単元の目標 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について遺跡や文化財，各種の資料を活用して調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことについて考え，表現する。
- 4 本時の目標 中大兄皇子，中臣鎌足の業績の共通点について調べ，聖徳太子の業績と共通していることを見つける。
- 5 本時の展開 2 / 10 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習問題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊟及び 太字ゴシック で示す。】
1 聖徳太子の業績について振り返る。	◇聖徳太子は，どのような人物でしたか。 ・聖徳太子は仏教を信仰し，「冠位十二階」や「十七条の憲法」を定めたり，隋に使者を送ったりするなど，新しい国づくりを進めた人物でした。	◆聖徳太子の名前と人物画 ◆聖徳太子の人物年表…前時から引き続き用いる。	○前時のノートをもとに，聖徳太子の業績について振り返る時間を設ける。
2 中大兄皇子，中臣鎌足の業績について調べ，話し合う。	中大兄皇子，中臣鎌足の業績について調べ，聖徳太子の業績と共通していることを見つけよう。 ・聖徳太子が亡くなった後，蘇我氏が天皇をしのぐほど勢力を強めたのだね。 ・蘇我氏が天皇をしのぐほど勢力を強めた様子を見た中大兄皇子と中臣鎌足は，645年に蘇我氏を倒したのだね。 ・その後，中大兄皇子と中臣鎌足は，中国(唐)から帰国した留学生や留学僧らと	◆中大兄皇子の名前と人物画 ◆中臣鎌足の名前と人物画 ◆資料「人々の負担 (租・調・庸)」 (社会科教科書 p. 30)	*本時の調べ学習の流れについては，「①子ども一人ひとりが調べる (各自のノートに調べた事実を書いていく)。②ペアで調べたことを交流し，聖徳太子，中大兄皇子，中臣鎌足の三人に共通点をまとめカード (【B5 用紙の 4 分の 1 の大きさ】黄色の紙を一人一枚配布する) に書き込む。③「聖徳太子，中大兄皇子，中臣鎌足の三人の共通点は，天皇を中心とする国づくりを進めたこと」をまとめカードに書いたら，それを子ども一人ひとりのノートに貼る。」といった流れを提示することで，見通し

<p>3 中大兄皇子，中臣鎌足の業績の共通点について調べたことをもとに，聖徳太子の業績と共通していることを見つけ</p>	<p>ともに天皇を中心とする国づくりを始めたのだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これを「大化の改新」というのだね。 ・有力な豪族が貴族として政治に参加するしくみがつくられたのだね。 ・人々は，租・調・庸といった税を納めたり，都を守ったりしたのだね。 <p>◇中大兄皇子，中臣鎌足の業績と聖徳太子の業績で，共通していることは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子，中大兄皇子，中臣鎌足の三人に共通していることは，天皇を中心とする国づくりを進めたことだね。 		<p>をもって調べ，まとめるという学習ができるようにする。</p> <p>* 「天皇を中心とする国づくり」については，黄色のチョークで板書することで，必ずノートに書く社会的事象としてとらえることができるようにする。</p> <div data-bbox="1467 762 2112 1005" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【観察・資料活用の技能】</p> <p>聖徳太子，中大兄皇子，中臣鎌足の業績の共通点について，資料を活用して必要な情報を読み取っている。</p> <p style="text-align: center;">(発言・ノート)</p> </div>
--	--	--	---

月 日 時間目

「天皇中心の国づくり」



聖徳太子

中大兄皇子，中臣鎌足の業績について調べ，聖徳太子の業績と共通していることを見つけよう。

聖徳太子が亡くなった後，蘇我氏が天皇をしのぐほど勢力を強めた。

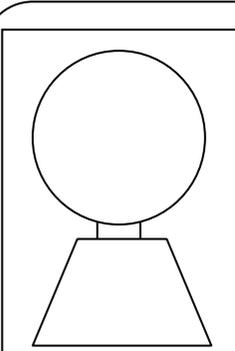
蘇我氏を倒す。

蘇我氏を倒した後，中大兄皇子と中臣鎌足は，中国（唐）から帰国した留学生や留学僧らとともに天皇を中心とする国づくりを始めた。⇒大化の改新

有力な豪族が貴族として政治に参加するしくみがつくられた。

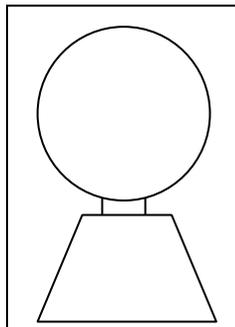
人々は，租・調・庸といった税を納めたり，都を守ったりした。

天皇を中心とする国づくりを進めた。



中大兄皇子

後の天智天皇



中臣鎌足

後の藤原鎌足

—調べ学習の流れ—

- ① 中大兄皇子，中臣鎌足の業績について調べる（各自のノートに調べた事実を書いていく）。
- ② ペアで調べたことを交流し，聖徳太子，中大兄皇子，中臣鎌足の三人に共通点をまとめカード（黄色の紙）に書く。
- ③ まとめカードが書けたら，ノートに貼る。

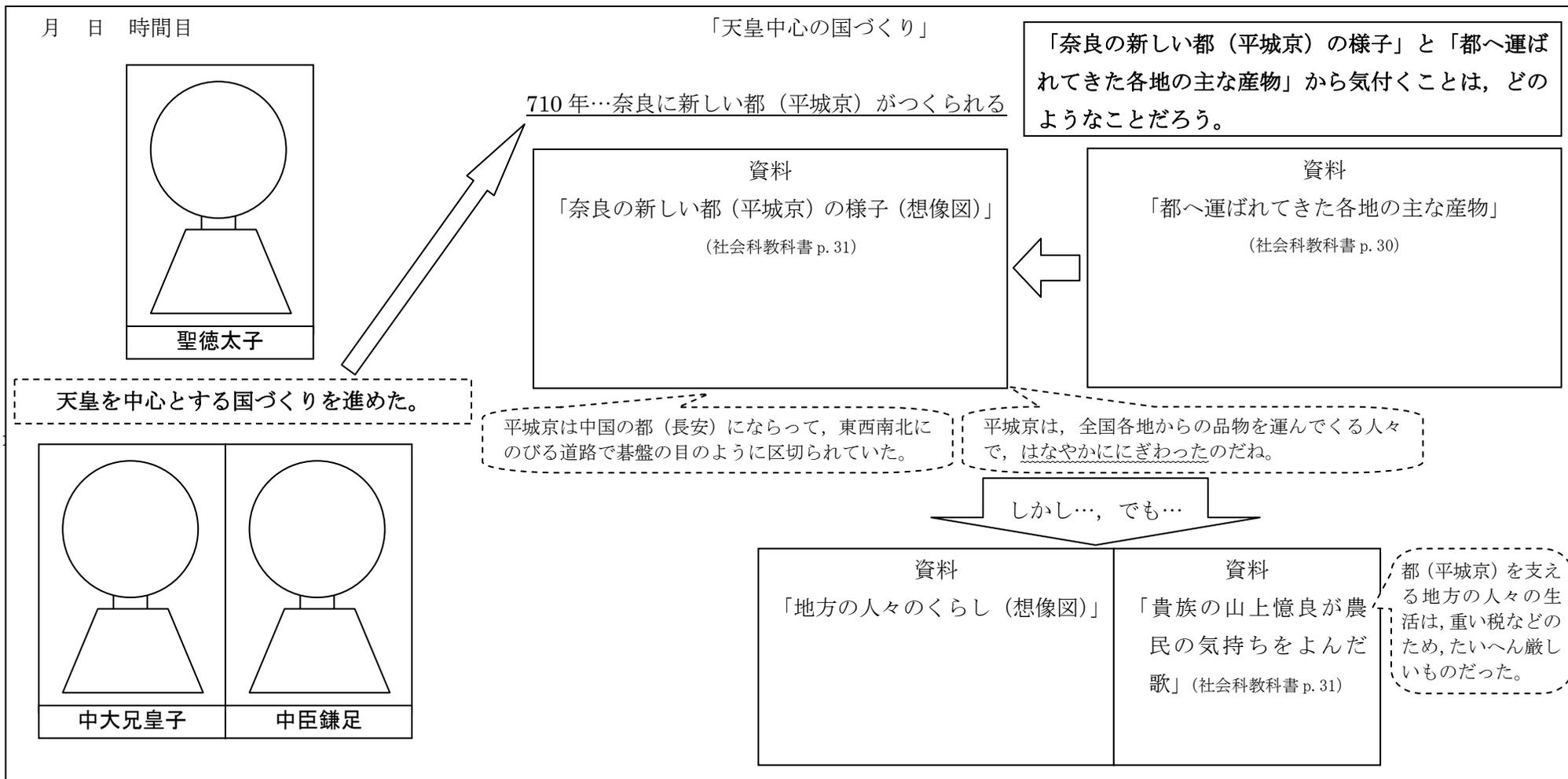
資料「人々の負担（租・調・庸）」
（社会科教科書 p. 30）

- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「天皇中心の国づくり」
- 3 単元の目標 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について遺跡や文化財，各種の資料を活用して調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことについて考え，表現する。
- 4 本時の目標 都ははなやかににぎわったが，それを支える地方の人々の生活はたいへん厳しいものであったことに気付く。
- 5 本時の展開 3 / 10時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習問題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊟及び 太字ゴシック で示す。】
1 前時の学習を振り返る。	◇聖徳太子，中大兄皇子，中臣鎌足の三人は，どのような国づくりを進めたのだったかな。 ・聖徳太子，中大兄皇子，中臣鎌足の三人は，天皇を中心とする国づくりを進めたのだったね。	◆聖徳太子の名前と人物画 ◆中大兄皇子の名前と人物画 ◆中臣鎌足の名前と人物画	*前時の振り返りを行うことで，聖徳太子，中大兄皇子，中臣鎌足の三人は，天皇を中心とする国づくりを進めたことを確認できるようにする。
2 「奈良の新しい都（平城京）の様子」と「都へ運ばれてきた各地の主な産物」を比べる。	□「奈良の新しい都（平城京）の様子」と「都へ運ばれてきた各地の主な産物」から気付くことは，どのようなことだろう。 ・奈良につくられた新しい都は「平城京」と言うのだね。 ・平城京は中国の都（長安）にならって，東西南北にのびる道路で碁盤の目のように区切られていたのだね。	◆年表 ◆資料「奈良の新しい都（平城京）の様子（想像図）」(社会科教科書 p. 31) ◆地図帳 ◆資料「都へ運ばれてきた各地の主な産物」(社会科教科書 p. 30)	*奈良の新しい都（平城京）の様子」と「地方の人々の暮らし」を比較して，気付いたことを話し合うことで，都ははなやかににぎわっていたが，それを支える地方の人々の生活はたいへん厳しいものであったことに気付くことができるようにする。 *地図帳を用いることで，平城京の位置を把握できるようにする。

<p>3 「奈良の新しい都（平城京）の様子」と「地方の人々の暮らし」を比べて気付いたことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平城京は、全国各地からの品物を運んでくる人々で、はなやかににぎわったのだね。 <p>○地方の人々のくらしも都（平城京）と同じようにはなやかだったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きっとはなやかだったと思う。 ・品物を都（平城京）に運ぶからたいへんだったと思う。 ・都（平城京）のにぎわいを支える地方の人々の生活は、重い税などのため、たいへん厳しいものだったのだね。 <p>□「奈良の新しい都（平城京）の様子」と「地方の人々の暮らし」を比べて気付いたことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平城京（都）ははなやかににぎわっていた。しかし、それを支える地方の人々の生活はたいへん厳しいものだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料「地方の人々のくらし（想像図）」 ◆資料「貴族の山上憶良が農民の気持ちをよんだ歌」（社会科教科書 p.31） <p>◆つなぎ言葉</p> <p>「しかし…」</p> <p>「でも…」</p>	<p>* 「しかし…」 「でも…」 といった「つなぎ言葉」を示すことで、「奈良の新しい都（平城京）の様子」と「地方の人々の暮らし」を比べて気付いたことをまとめることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【社会的事象についての知識・理解】</p> <p>都ははなやかににぎわったが、それを支える地方の人々の生活はたいへん厳しいものであったことを理解している。</p> <p style="text-align: right;">（発言・ノート）</p> </div>
--	---	---	---

6 板書計画

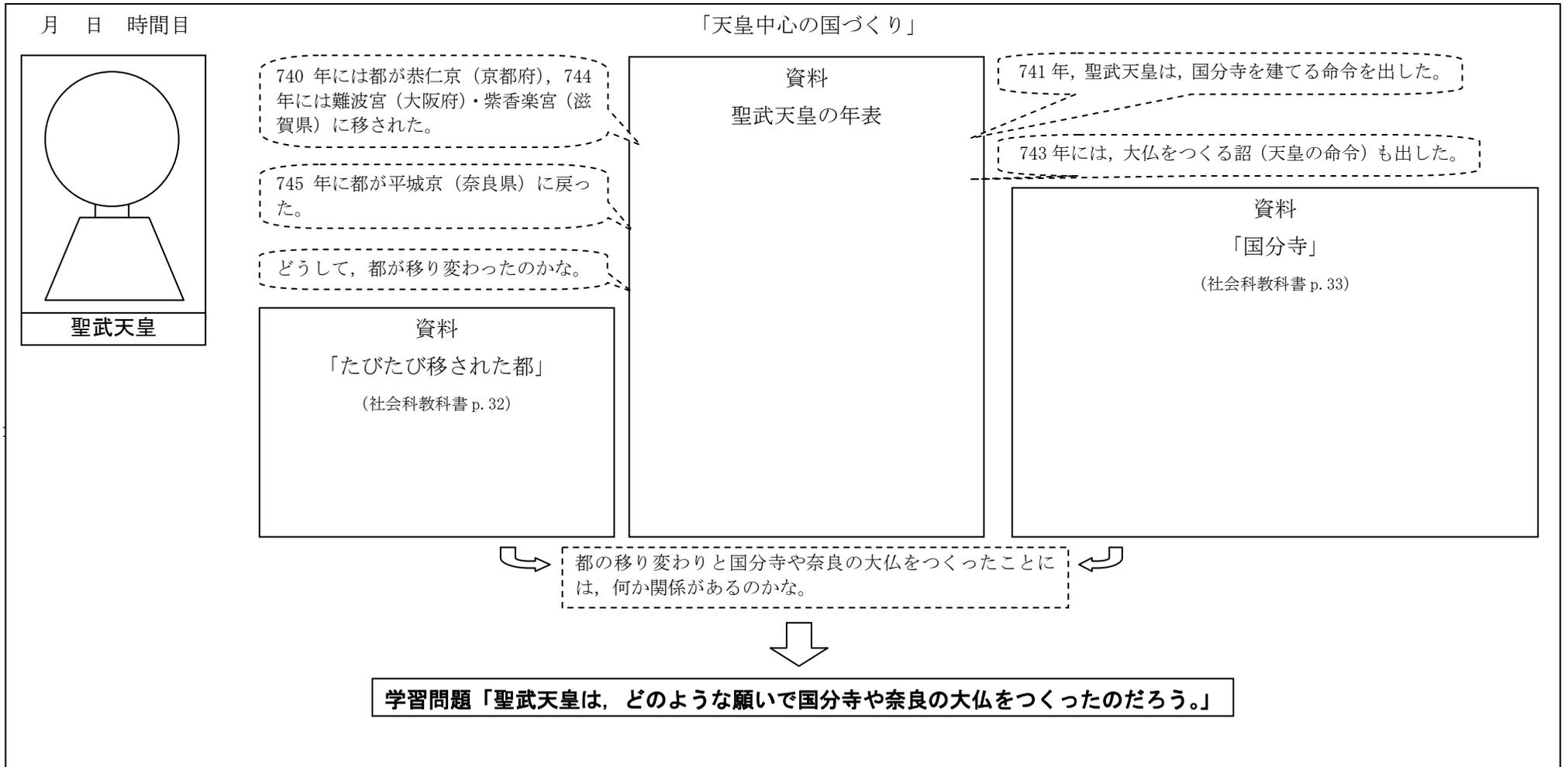


- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「天皇中心の国づくり」
- 3 単元の目標 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について遺跡や文化財，各種の資料を活用して調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことについて考え，表現する。
- 4 本時の目標 都がたびたび移されたことや全国に国分寺や奈良に大仏がつくられたことから学習問題をつくり，予想する。
- 5 本時の展開 4 / 10 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習問題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊦)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊦及び 太字ゴシック で示す。】
1 聖武天皇の年表，地図，資料から気付いたことを話し合い，学習問題をつくる。	◇聖武天皇の年表，地図，資料からどのようなことに気付くだろう。 ・740年には都が ^く 仁京（京都府），744年には ^{なにわのみや} 難波宮（大阪府）・ ^{しがらきのみや} 紫香楽宮（滋賀県）に移されたのだね。 ・そして，745年に都が平城京（奈良県）に戻ったのだね。 ・どうして，都が移り変わったのかな。 ・741年には，聖武天皇が国分寺を建てる命令を出したのだね。 ・743年には，大仏をつくる詔（天皇の命令）も出していたのだね。 ・都の移り変わりや国分寺や奈良の大仏をつくったことには，何か関係があるのかな。	◆聖武天皇の名前と人物画 ◆聖武天皇の年表 ◆地図帳 ◆資料「たびたび移された都」 （社会科教科書 p. 32） ◆資料「国分寺」（社会科教科書 p. 33）	* 聖武天皇の年表，地図帳を用いることで，たびたび都が移されていることを知り，当時の社会の不安定な様子をとらえることができるようにする。 ○ 地図帳の活用を意図して，地図帳と資料「たびたび移された都」を照らし合わせる学習活動を入れる。 ○ 聖武天皇の年表からは，都の位置の移り変わりとともに全国に国分寺がつくられるようになったり，奈良に大仏がつくられるようになったりしたことが集約されている。聖武天皇の年表から「国分寺」「大仏」というキーワードを子どもが読み取ったときに，効果的に資料「国分寺」を提示する。

<p>2 学習問題に対して、予想する。</p>	<p>学習問題「聖武天皇は、どのような願いで国分寺や奈良の大仏をつくったのだろう。」</p> <p><input type="checkbox"/>学習問題に対して予想したことをノートに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たぶん、病気の流行が治まり，都を移さなくても良いようにという願いを込めて，聖武天皇は国分寺や奈良の大仏をつくったのだと思います。 ・たぶん，聖武天皇は国分寺や奈良の大仏を建てたら，世の中が平和になるという考えと願いをもっていたのだと思います。 	<p style="text-align: center;">【社会的な思考・判断・表現】</p> <p>都がたびたび移されたことや全国に国分寺や奈良に大仏がつくられたことから学習問題をつかみ，予想を表現している。</p> <p style="text-align: center;">(発言・ノート)</p>
-------------------------	---	--

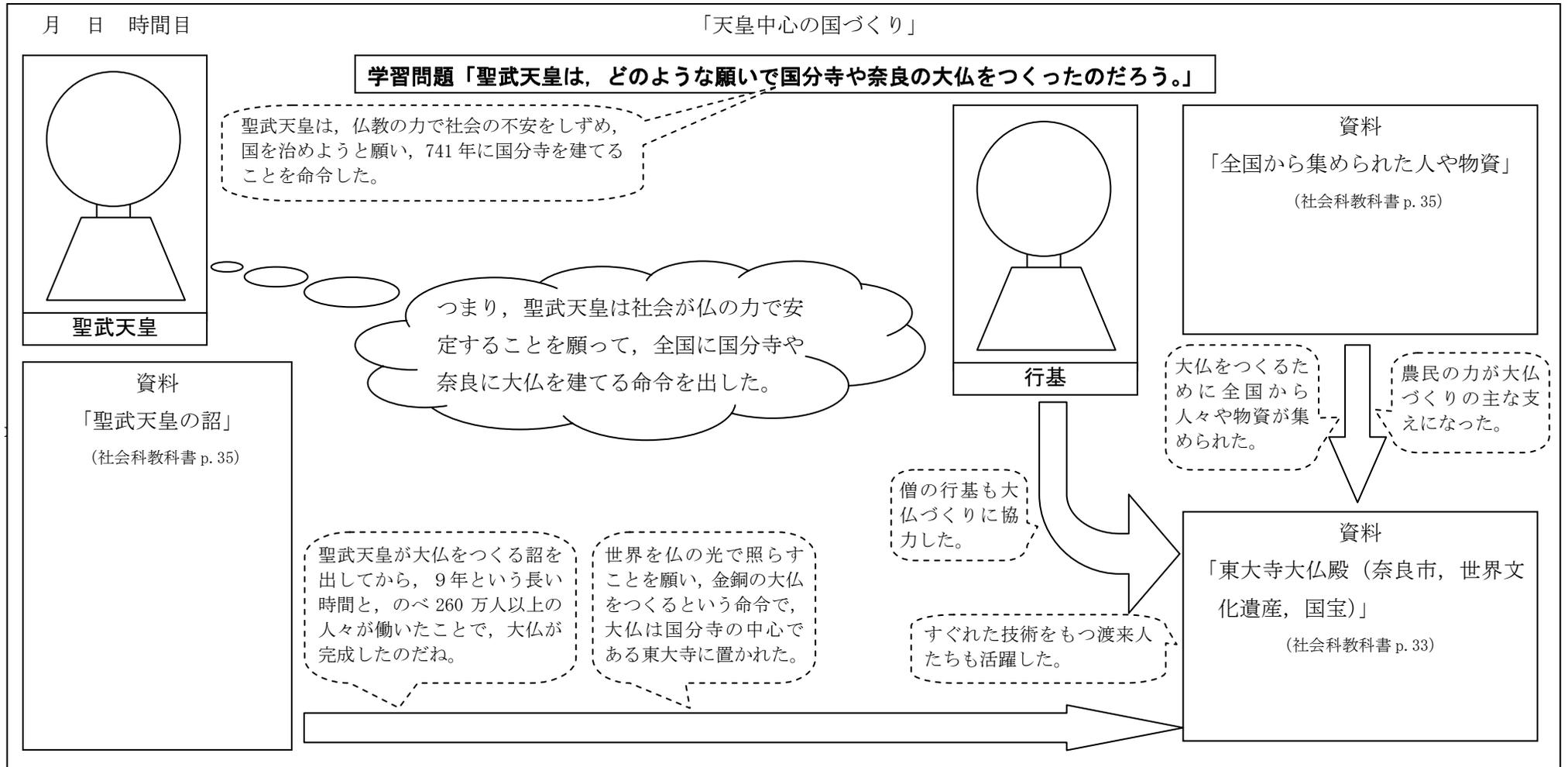
6 板書計画



- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「天皇中心の国づくり」
- 3 単元の目標 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について遺跡や文化財，各種の資料を活用して調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことについて考え，表現する。
- 4 本時の目標 予想を確かめるために資料から必要な情報を収集し，事実をまとめる。
- 5 本時の展開 5 / 10時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習問題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊟及び 太字ゴシック で示す。】
1 前時につくった学習問題を振り返る。	◇前の時間にみんなで作った学習問題は何か。 ・「聖武天皇は，どのような願いで国分寺や奈良の大仏をつくったのだろう。」です。 学習問題「聖武天皇は，どのような願いで国分寺や奈良の大仏をつくったのだろう。」	◆聖武天皇の名前と人物画 ◆聖武天皇の年表 →側面掲示 ◆資料「国分寺」(社会科教科書 p. 33) →側面掲示	*前時につくった学習問題を振り返る場を設けることで，子ども一人一人が自分のノートに学習問題を書くことができるようにする。
2 学習問題を確かめるために，資料をもとに調べ学習を行う。(全体交流含む。)	□学習問題に対する予想を確かめるために資料をもとに調べよう。 ・聖武天皇は，仏教の力で社会の不安をしずめ，国を治めようと願い，741年に国分寺を建てることを命令したのだね。 ・世界を仏の光で照らすことを願い，金銅の大仏をつくるという命令で，大仏は国分寺の中心である東大寺に置かれ	㊟資料「東大寺大仏殿(奈良市，世界文化遺産，国宝)」(社会科教科書 p. 33) ◆資料「聖武天皇の詔」(社会科教科書 p. 35) ◆資料「全国から集められた人や物資」(社会科教科書 p. 35) ◆行基の名前と人物画	*奈良の大仏づくりに関することを中心に調べ，交流する中ことで，行基・渡来人・全国から集められた人や物資などのキーワードをおさえることができるようにする。 ○調べの際には，どの資料から何がわかったのか，一つ一つを明確にしながら，学習を進めるように指導する。

<p>3 学習問題に対するこたえ（書きまとめ）を書く。</p>	<p>たのだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仏をつくるために全国から人々や物資が集められたのだね。 ・農民の力が大仏づくりの主な支えになったのだね。 ・僧の行基も大仏づくりに協力したのだね。 ・また、大仏づくりには、すぐれた技術をもつ渡来人たちも活躍したのだね。 ・聖武天皇が大仏をつくる詔を出してから、9年という長い時間と、のべ260万人以上の人々が働いたことで、大仏が完成したのだね。 <p>◇調べや交流したことをもとにして、学習問題「聖武天皇は、どのような願いで国分寺や奈良の大仏をつくったのだろう。」に対するこたえを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖武天皇は社会が仏の力で安定することを願って、全国に国分寺や奈良に大仏を建てる命令を出した。それが完成するには、物資だけでなく農民、行基、渡来人など、多くの人の力が必要だった。 	<p>◆支援カード</p>	<p>*板書をする際、行基・渡来人・全国から集められた人や物資などのキーワードは黄色のチョークで書き表すことで、書きまとめに生かすことができるようにする。</p> <p>○学習問題に対するこたえ（書きまとめ）を書く際には、行基・渡来人・全国から集められた人や物資などのキーワードを使いながらまとめるように指導する。</p> <p>*「聖武天皇は～を願って、…を建てる命令を出した。それが完成するには、・・・。」のような支援カードを提示することで、書きまとめを苦手としている子どもも第5時の書きまとめができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【社会的な思考・判断・表現】</p> <p>年表や資料などから聖武天皇の願いについてとらえ、表現している。</p> <p style="text-align: right;">(発言・ノート)</p> </div>
---------------------------------	--	---------------	--

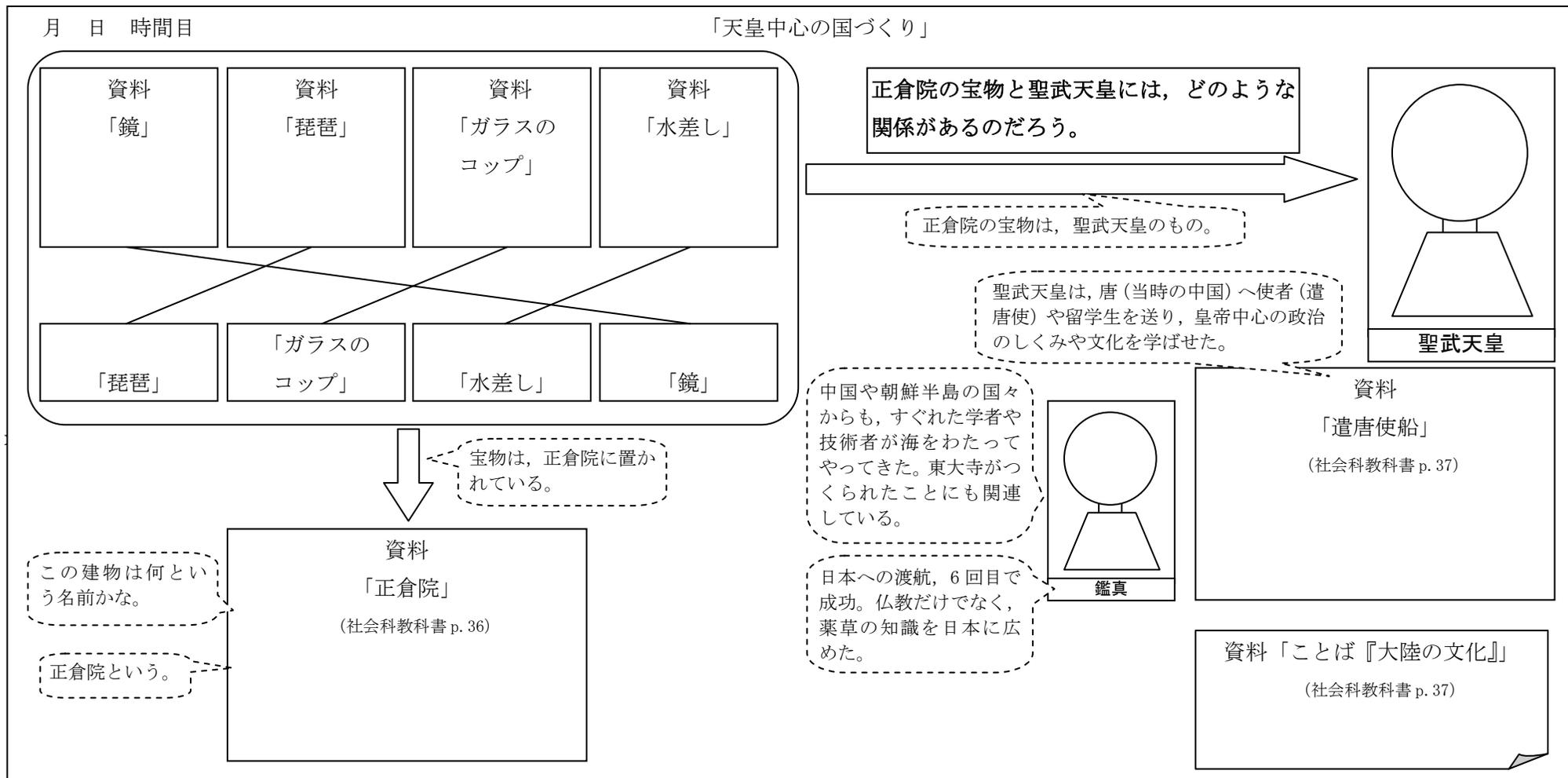


- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「天皇中心の国づくり」
- 3 単元の目標 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について遺跡や文化財，各種の資料を活用して調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことについて考え，表現する。
- 4 本時の目標 大陸文化について，資料を活用して必要な情報を読み取る。
- 5 本時の展開 6 / 10 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習問題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊟及び 太字ゴシック で示す。】
1 資料「正倉院の宝物」について話し合う。	□今からいくつかの宝物の資料を提示します。宝物と宝物名カードをつなぎ合わせましょう。 ・(宝物と宝物名カードをつなぎ合わせる。) ◇宝物は，聖武天皇と次のような建物と関係があります。 ・建物は何という名前なのかな。 ・確か，正倉院という名前の建物だったと思うよ。 ・宝物は，正倉院に置かれているのだね。	㊟資料「鏡」と宝物名カード ㊟資料「琵琶」と宝物名カード ㊟資料「ガラスのコップ」と宝物名カード ㊟資料「水差し」と宝物名カード ◆資料「正倉院」 (社会科教科書 p. 36)	* 宝物と宝物名カードをつなぎ合わせる学習活動を位置付けることで，宝物という文化に視点を向けることができるようにする。
2 学習問題をつかみ，資料をもとに調べる。(全体交流	正倉院の宝物と聖武天皇には，どのような関係があるのだろう。 ・正倉院の宝物は，聖武天皇のものなのだね。	◆聖武天皇の名前と人物画 ◆資料「遣唐使船」 (社会科教科書 p. 37) ◆地図帳	* 資料「正倉院の宝物」をもとに気が付いたことを話し合うことで，聖武天皇が大陸から学ぼうとしたことをとらえる。その際，遣唐使・中国や朝鮮半島の進んだ文化と技術・鑑真・仏教の発展など

<p>を含む。)</p> <p>3 学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聖武天皇は、唐（当時の中国）へ使者（遣唐使）や留学生を送り、皇帝中心の政治のしくみや文化を学ばせたのだね。 ・中国や朝鮮半島の国々からも、すぐれた学者や技術者が海をわたってやってきたのだね。東大寺がつくられたことにも関連しているのだね。 ・聖武天皇は、大陸から進んだ文化や技術・仏教を学ぼうとしたのだね。 ・中国は、古くから西アジアやヨーロッパと交易などでつながりがあったのだね。だから、島国の日本は、使者や留学生を中国に送ることで、大陸の文化を取り入れていったのだね。 	<p>◆鑑真の名前と人物画</p> <p>㊟資料「ことば『大陸の文化』」 (社会科教科書 p. 37)</p>	<p>のキーワードをおさえる。</p> <p>○鑑真とその業績についても教科書や資料を用いて、確実におさえる。</p> <p>○文化という視点はこの後の学習で大切になってくる。そこで、資料「ことば『大陸の文化』」に記載されている事柄（中国は、古くから西アジアやヨーロッパと交易などでつながりがありました。島国の日本は、使者や留学生を中国に送ることで、大陸の文化を取り入れていったのです。）についてはおさえておくべき知識として、子どもがノートに記録するように指導する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【観察・資料活用の技能】</p> <p>大陸文化について、資料を活用して必要な情報を読み取り、まとめている。</p> <p style="text-align: center;">(発言・ノート)</p> </div>
----------------------------------	---	---	--

6 板書計画

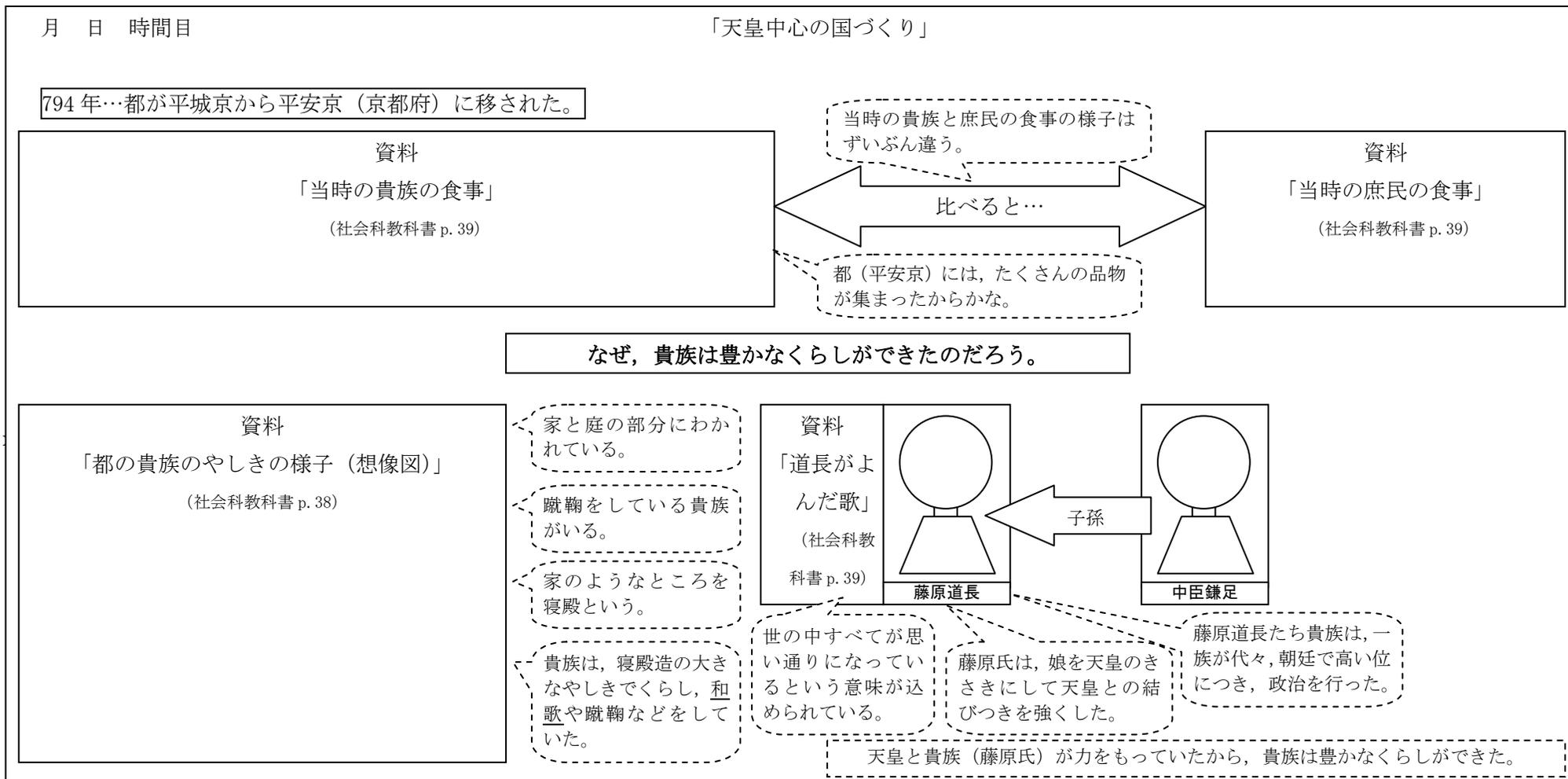


- 1 日時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「天皇中心の国づくり」
- 3 単元の目標 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について遺跡や文化財，各種の資料を活用して調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことについて考え，表現する。
- 4 本時の目標 貴族の生活に関わる資料から，天皇と貴族（藤原氏）が大きな力をもっていたことを理解する。
- 5 本時の展開 7 / 10 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習問題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊟及び 太字ゴシック で示す。】
1 年表を読み取る。	□年表から 794 年の出来事は何かを読み取ろう。 ・794 年は，都が平城京から平安京（京都府）に移された年なのだね。	◆年表 ◆地図帳	*年表と地図帳を用いることで，都が平城京から平安京（京都府）に移されたことを把握できるようにする。
2 資料を見比べて，学習問題をつくる。	◇「当時の貴族の食事」と「当時の庶民の食事」の資料を比べて，どのようなことに気付くだろう。 ・当時の貴族と庶民の食事の様子はずいぶん違うね。 ・都（平安京）には，たくさんの品物が集まったからかな。 なぜ，貴族は豊かなくらしができたのだろう。	㊟資料「当時の貴族の食事」 （社会科教科書 p. 39） ◆資料「当時の庶民の食事」 （社会科教科書 p. 39）	
3 学習問題に	◇なぜ，貴族は豊かなくらしができたのだ	㊟資料「都の貴族のやしきの様子(想像図)」	*資料「貴族の食事」「都の貴族のやしきの様子(想像図)」

<p>対して、資料をもとに調べる。</p>	<p>ろう。貴族のくらしについて調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「貴族のやしき」の資料から、家と庭の部分にわかれていることがわかるね。 ・蹴鞠をしている貴族がいるよ。 ・家のようなところを寝殿と言うのだね。 ・貴族は、寝殿造の大きなやしきでくらし、和歌や蹴鞠などをしていたのだね。 ・その和歌の一つが、藤原道長がよんだ「この世をば わが世とぞ思ふもち月の かけたることも なしと思へば」なのだね。 ・世の中すべてが思い通りになっているという意味が込められた和歌なのだね。 ・藤原道長は、中臣鎌足の子孫なのだね。 ・藤原氏は、娘を天皇のきさきにして天皇との結びつきを強くしたのだね。 ・藤原道長たち貴族は、一族が代々、朝廷で高い位につき、政治を行った。 	<p>(社会科教科書 p. 38)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆藤原道長の名前と人物画 ◆資料「道長がよんだ歌」(社会科教科書 p. 39) <ul style="list-style-type: none"> ◆中臣鎌足の名前と人物画 <ul style="list-style-type: none"> ◆資料「ことば『貴族』」(社会科教科書 p. 39) 	<p>像図)」「藤原道長の歌」から、貴族はどのようなくらしをしていたのかを調べることで、平安時代になって都(平安京)がますます栄えたことや天皇と藤原氏が大きな力をもったことを理解できるようにする。</p> <p>○子どもが確実におさえておくべき事柄として、天皇と貴族(藤原氏)が力をもっていたことを板書上にも明確に示す。</p>
<p>4 学習のまとめをする。</p>	<p>□なぜ、貴族は豊かなくらしができたのだろうか。学習のまとめを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平安時代になって都がますます栄えた。その中で、天皇や藤原氏たち貴族が大きな力をもった。だから、貴族は、寝殿造の大きなやしきで豊かにくらし、和歌や蹴鞠などをしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習のまとめ文例 <p>→文例「平安時代になって都(…京)がますます栄えた。その中で、…や…が大きな力をもった。だから、貴族は、…の大きなやしきで豊かにくらし、…や…などをしていた。」</p>	<p>*学習のまとめの際、文例を示しておくことで、書きまとめを苦手に行っている子どももノートや板書をもとに書ききることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【社会的事象についての知識・理解】 資料から、天皇と貴族(藤原氏)が大きな力をもっていたことを理解している。 (発言・ノート)</p> </div>

6 板書計画

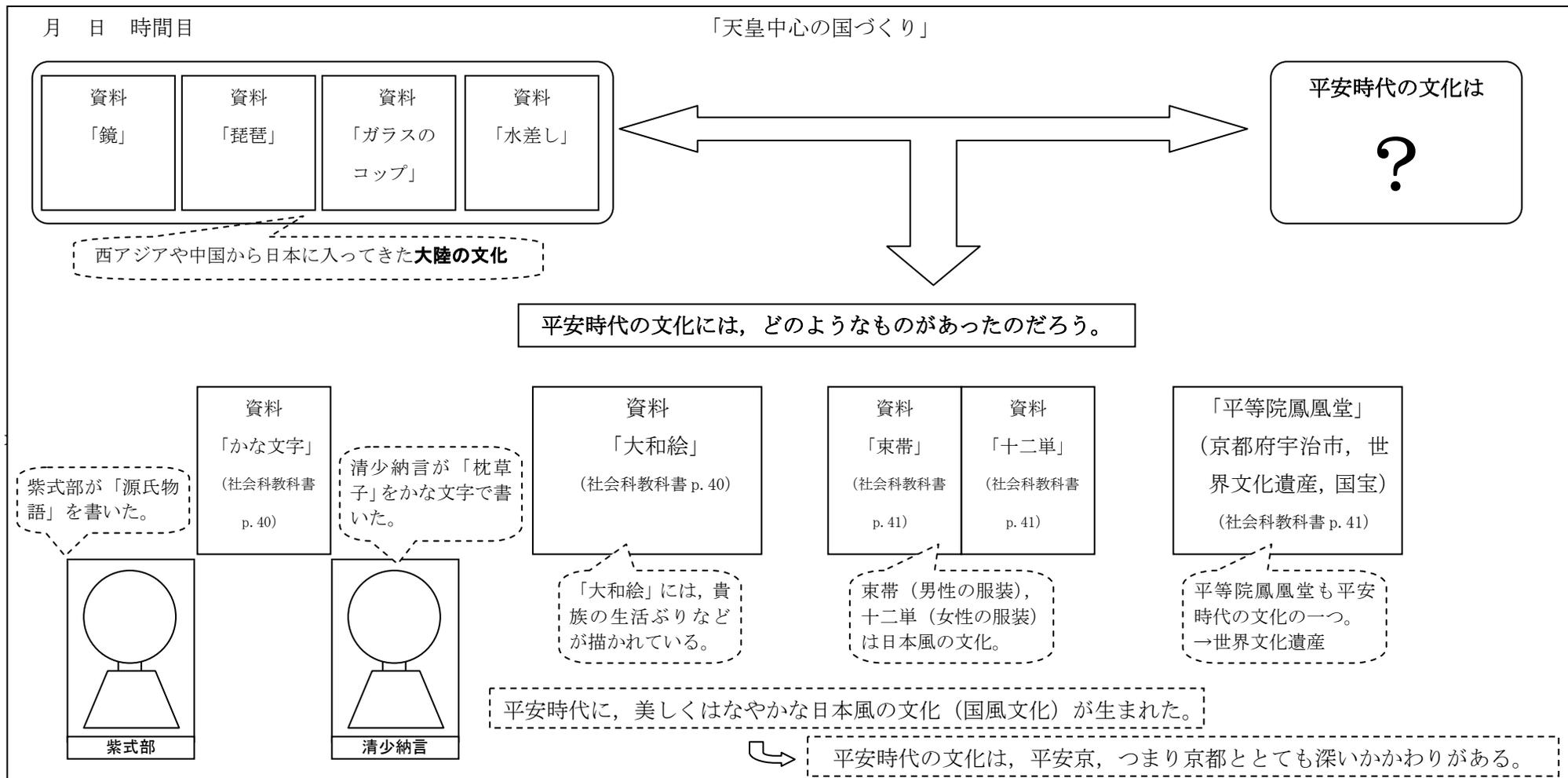


- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「天皇中心の国づくり」
- 3 単元の目標 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について遺跡や文化財，各種の資料を活用して調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことについて考え，表現する。
- 4 本時の目標 日本風の文化がおこったことについて資料を使って調べ，まとめる。
- 5 本時の展開 8 / 10 時間

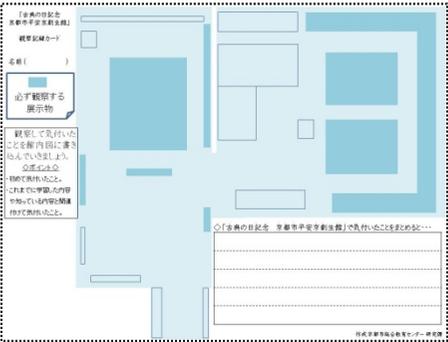
学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習問題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊟及び 太字ゴシック で示す。】
1 「貴族のくらし」について振り返る。	◇「貴族のくらし」には，和歌や蹴鞠のほかにどのようなものがあったのだろう。 ・ひな祭りや七夕などの季節の行事もあったのだね。 ・それらは今でもわたしたちの生活に受けつがれている行事だね。 ・すもうも行われていたのだね。		*社会科教科書39ページに「(貴族のくらしの中で,) さまざまな季節の行事がありました。」という記載がある。この文言を根拠にして，問いかけることで，ひな祭りや七夕といった子どもに馴染みのある行事が平安時代に行われていたことに気付くことができるようにする。
2 学習問題をつくる。	◇(資料「正倉院の宝物」を提示しながら) これらはどのような文化でしたか。 ・西アジアや中国から日本に入ってきた大陸の文化です。 ・平安時代の文化はどのようなものがあったのかな。 平安時代の文化には，どのようなものがあったのだろう。	㊟資料「正倉院の宝物」 (社会科教科書 p. 36)	*「平安時代の文化は？」とブラックボックスを示すことで，学習問題をつくることができるようにする。

<p>3 学習問題に対して、資料をもとに調べる。</p> <p>※ 「平安時代」の主な舞台は京都であったことをおさえる。</p>	<p>□学習問題に対して、資料をもとに調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その代表的なものが「かな文字」だね。 ・紫式部が「源氏物語」を、清少納言が「枕草子」をかな文字で書いたのだね。 ・「大和絵」には、貴族の生活ぶりなどが描かれているのだね。 ・平安時代に、美しくはなやかな日本風の文化（国風文化）が生まれたのだね。 ・東帯（男性の服装）、十二単（女性の服装）は日本風の文化なのだね。 ・平安時代に、これまでの大陸の文化を取りこんで、新たに日本の風土にあった文化が生まれたのだね。そして、現在まで受けつがれているものも多く残されているのだね。 ・京都府宇治市にある平等院鳳凰堂もその一つだね。 ・平等院鳳凰堂は世界文化遺産の一つなのだね。 <p>◇「平安時代」の主な舞台はどこだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平安時代の文化は、平安京、つまり京都ととても深いかわりがあるといえるね。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆紫式部の名前と人物画 ◆清少納言の名前と人物画 ㊦資料「かな文字」（社会科教科書 p. 40） ㊦資料「大和絵」（社会科教科書 p. 40） ㊦資料「東帯」（社会科教科書 p. 41） ㊦資料「十二単」（社会科教科書 p. 41） ◆地図帳 <p>㊦資料「ことば『日本風の文化』」（社会科教科書 p. 41）</p> <p>㊦資料「平等院鳳凰堂」（京都府宇治市，世界文化遺産，国宝）（社会科教科書 p. 41）</p>	<p>* 第6時で用いた資料と平安時代の文化を比較することで、平安時代に大陸の文化とは趣の異なった独自の日本風の文化が興ったことを理解できるようにする。その際、紫式部の源氏物語・清少納言の枕草子・かな文字・大和絵・東帯・十二単などは、黄色チョークで板書することで、ノートに必ず記録するものとして示す。</p> <p>㊦文化という視点は学習の柱としている。そこで、資料「ことば『日本風の文化』」に記載されている事柄（この時代に、これまでの大陸の文化を取りこんで、新たに日本の風土にあった文化が生まれました。そのため現在まで受けつがれているものも多く残されています。）について、また、京都とのかかわりはおさえておくべき知識として、子どもがノートに記録するように指導する。</p> <p>㊦『「平安時代」の主な舞台はどこだったのだろう。』という補助発問を行うことで、平安時代の文化は、平安京、つまり京都ととても深いかわりがあることに気付くことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【観察・資料活用の技能】</p> <p>日本風の文化がおこったことについて資料を使って調べ、まとめている。</p> <p style="text-align: right;">（発言・ノート）</p> </div>
--	---	--	---

6 板書計画



- 1 日時 平成○年○月○日 (○) ○校時【「古典の日記念 京都市平安京創生館」見学学習】
- 2 単元名 「天皇中心の国づくり」
- 3 単元の目標 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について遺跡や文化財，各種の資料を活用して調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことについて考え，表現する。
- 4 本時の目標 平安京の様子について，模型や展示資料を観察し，気付いたことを観察カードにまとめる。【「古典の日記念 京都市平安京創生館」見学学習】
- 5 本時の展開 9 / 10 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習問題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊦)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊦及び 太字ゴシック で示す。】
1 映像資料で平安京や学校の位置を確かめる。 2 「古典の日記念 京都市平安京創生館」を見学する。	□今日は、「古典の日記念 京都市平安京創生館」での見学学習です。映像資料で，平安京や学校の位置を確かめましょう。 「古典の日記念 京都市平安京創生館」を見学して，どのようなことに気付くだろう。 □平安京復元模型や展示資料を見て，気付いたことを観察記録カードに書き込んでいきましょう。	◆観察記録カード  ㊦平安京復元模型 ㊦展示資料「平安時代の衣・食・住」	○学校から「古典の日記念 京都市平安京創生館」の道中には，安全に気をつける。 ○観察記録カードについては，「古典の日記念 京都市平安京創生館」に到着してから配布する。 ○観察記録カードの使い方を説明する。 ○個々で見学するが，質問がある場合は「古典の日記念 京都市平安京創生館」の職員や指導者に質問しても良いことを伝える。 ㊦日本風の文化が起こったころの京都の様子を体感するために「古典の日記念 京都市平安京創生館」の見学学習を行う。平安京復元模型を概観するとき に東寺の位置は今も変わらないことを補足説明

<p>3 集合し、職員の方に挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の京都と同じように東西南北に道路が通っていたのだね。 ・今、わたしたちが立っているところは、平安宮の中なのだね。お酒を造っていたところらしいね。 ・造酒司というのだね。 ・十二単は、着物が何重にも重なっているのだね。 ・貴族の食事を見ていると、おせち料理に出てくる料理と似ているね。 ・囲碁や双六、独楽などの遊びもあったのだね。 ・前の時間に学習したように、わたしたちが生活している京都は平安時代の貴族がくらしていたところでもあるのだね。 ・平安時代と現代はつながっているのだね。 <p>□「古典の日記念 京都市平安京創生館」の職員の方々に挨拶しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、平安京復元模型を見たり、説明を聴いたりして、私たちの学校の場所が平安京の中にあったことを実感しました。ありがとうございました。 		<p>する。更に、展示資料から平安時代の衣・食・住についての様子を読み取ることで、日本風の文化が現代にもつながっていることをとらえられるようにする。</p> <p>○子どもたちが観察記録カードにどのようなことを記録しているのか、確認する。記録していることを確認することで、集合時に指名する児童を概ね決めておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【観察・資料活用の技能】</p> <p>平安京の様子について、「古典の日記念 京都市平安京創生館」の模型や展示資料を観察し、気付いたことを観察カードにまとめている。</p> <p style="text-align: center;">(発言・観察カード)</p> </div> <p>㊦集合時に児童を何名か指名することで、平安京復元模型や展示資料を見て気付いたことを共有することができるようにする。</p>
--------------------------	--	--	--

「古典の日記念
京都市平安京創生館」

観察記録カード

名前()

必ず観察する
展示物

観察して気付いた
ことを館内図に書き
込んでいきましょう。

◇ポイント◇

- ・初めて気付いたこと。
- ・これまでに学習した内容
や知っている内容と関連
付けて気付いたこと。

吹き出しの事例のように、
平安京復元模型や展示物
を観察して、気付いたことを
記入していきましょう。

観察記録カードの使い方

私たちの学校は……。

展示されているものは……。

朱雀大路の幅は……。

年表からわかることは……。

平安時代の食事は……。

◇「古典の日記念 京都市平安京創生館」で気付いたことをまとめると……

「古典の日記念
京都市平安京創生館」

観察記録カード

名前()

必ず観察する
展示物

観察して気付いた
ことを館内図に書き
込んでいきましょう。

◇ポイント◇

- ・初めて気付いたこと。
- ・これまでに学習した内容
や知っている内容と関連
付けて気付いたこと。

◇「古典の日記念 京都市平安京創生館」で気付いたことをまとめると・・・

- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「天皇中心の国づくり」
- 3 単元の目標 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について遺跡や文化財，各種の資料を活用して調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことについて考え，表現する。
- 4 本時の目標 天皇中心の国づくり，大陸の文化と日本風の文化についてまとめる。
- 5 本時の展開 10 / 10 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習問題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，仮及び 太字ゴシック で示す。】
1 単元のまとめを書き表す。	□単元「天皇中心の国づくり」の学習を通して学んだことをまとめましょう。 (まとめ例) ・聖徳太子，中大兄皇子，中臣鎌足が活躍していた時代から，天皇を中心とする国づくりが進められた。文化については，聖武天皇のころ使者や留学生を中国に送り，大陸の文化を取り入れていった。平安時代になると，日本の風土に合った「かな文字」「大和絵」「囲碁」などの日本風の文化が生まれた。これは，現在のわたしたちの生活にもつながっている。	◆年表 ◆前時までのノート ◆ストーリーシート	㊟学習のまとめとして，「天皇を中心とする政治が確立されたこと」を，また，「大陸風の文化」「日本風の文化」「そして，現代の文化は…」というストーリー（3コマまんが風に絵と文で）まとめることによって，「平安時代におこった日本風の文化が現代にもつながっていること」を理解できるようにする。 *書きあがったストーリーシートは，板書上に掲示していくことで，友だちの学びから自分の学びに生かすことを見つけたり，学びを共有したりできるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【社会的な思考・判断・表現】 天皇中心の国づくり，大陸の文化と日本風の文化についてまとめ，表現している。 (ストーリーシート) </div>

6 板書計画

月 日 時間目	「天皇中心の国づくり」						
单元「天皇中心の国づくり」の学習を通して学んだことをまとめよう。							

※子どもたちの一人一人のストーリーシート【クラス全員分を掲示する。】

【ストーリーシート】

単元「天皇中心の国づくり」学習のまとめ ～ストーリーシート～

名前 ()

◇国づくりについて… () に当てはまる言葉を書こう。

・(人物名：) や大化の改新によって政治の仕組みが整えられた。また、() が造られたところに () を中心とした政治が確立した。

◇文化について…3コマまんが風に絵と文でまとめよう。

絵 「大陸風の文化」	絵 「日本風の文化」	絵 「そして、現代の文化は…」
文 ----- ----- ----- -----	文 ----- ----- ----- -----	文 ----- ----- ----- -----

⇒3コマまんが風にまとめたことをふりかえると…

ことが分かる (といえる)。